

の	の	女	る	く	「	本	一	い	め	責	「	い	口	」	あ	キ	ユ	一	ク	リ	女	が	せ	「	ほ	ら	」		
薄	動	の	く	く	」	本	当	い	つ	め	ら	や	タ	」	あ	ル	ロ	タ	リ	ツ	男	、	て	あ	げ	る	」		
い	き	の	せ	せ	に	当	當	い	つ	れ	れ	ら	し	い	あ	ア	ア	タ	ツ	ブ	の	、	て	あ	げ	る	。		
体	に	口	一	一	に	に	に	い	い	い	れ	ら	し	い	あ	を	を	の	リ	ツ	男	、	て	あ	げ	る	。		
が	合	一	タ	タ	」	に	止	め	、	や	、	こ	ん	な	」	一	タ	タ	タ	タ	男	の	、	て	あ	げ	る	。	
ビ	わ	一	タ	タ	」	め	め	て	や	め	、	ん	な	、	」	の	モ	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。		
ク	せ	一	の	の	」	て	い	い	め	め	、	や	ん	、	」	一	タ	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。		
ン	て	、	ス	ス	」	い	い	い	め	め	、	や	ん	、	」	一	ス	ス	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。	
ビ	、	ス	イ	イ	」	の	の	の	い	い	い	、	な	、	」	一	タ	タ	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。	
ク	男	一	タ	タ	」	の	の	の	い	い	い	、	な	、	」	一	ス	ス	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。	
ン	の	、	ス	イ	イ	」	の	の	の	い	い	い	、	な	、	」	一	タ	タ	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。
と	白	一	チ	チ	」	の	の	の	か	か	か	、	や	や	、	」	一	タ	タ	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。
反	く	一	チ	チ	」	の	の	の	。	。	。	、	め	め	、	」	一	タ	タ	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。
応	少	一	動	動	」	の	の	の	も	も	も	、	の	の	、	」	一	タ	タ	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。
し	年	一	か	か	」	の	の	の	く	く	く	、	く	く	、	」	一	タ	タ	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。
て	の	一	か	か	」	の	の	の	凄	凄	凄	、	だ	だ	、	」	一	タ	タ	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。
い	よ	一	感	感	」	の	の	の	く	く	く	、	さ	さ	、	」	一	タ	タ	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。
た	う	一	感	感	」	の	の	の	じ	じ	じ	、	感	感	、	」	一	タ	タ	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。
。	な	一	の	の	」	の	の	の	じ	じ	じ	、	の	の	、	」	一	タ	タ	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。
自	肉	一	指	指	」	の	の	の	て	て	て	、	指	指	、	」	一	タ	タ	タ	タ	タ	の	、	て	あ	げ	る	。

ヨ	女	ま	た	ら	て	は	つ	で	同	く	と	が	ツ	V	い	ら	分
ン	と	れ	パ	れ	、	、	ち	両	じ	見	の	胸	プ	C	た	、	が
の	男	、	ー	て	目	少	り	腕	く	せ	あ	元	を	の	そ	女	弄
一	室	ず	ル	い	隠	し	と	を	二	て	る	ま	丸	の	の	は	ん
に	は	つ	ロ	た	し	も	繩	後	十	い	凜	で	出	コ	。	は	樂
い	、	と	ー	。	を	動	を	ろ	半	た	々	伸	し	ル	。	、	で
た	池	刺	タ	オ	さ	か	け	手	ば	い	し	び	に	セ	そ	女	い
。	袋	激	ー	チ	れ	す	ら	で	位	た	く	、	し	ツ	う	は	る
	の	さ	二	ン	れ	こ	れ	縛	ば	。	美	や	た	ト	そ	う	同
	繁	れ	個	チ	正	と	れ	ら	位	。	し	や	黒	風	に	に	じ
	華	て	と	ン	座	は	で	れ	の	若	い	男	い	の	。	口	年
	街	い	一	チ	の	、	き	て	若	い	顔	つ	ガ	衣	も	と	の
	に	た	緒	ン	姿	、	な	い	い	立	立	い	ー	装	に	に	若
	ほ	。	に	ス	勢	、	か	た	男	ち	ち	と	タ	と	。	笑	者
	ど		バ	イ	で	、	か	、	は	ち	を	ブ	ー	、	。	み	の
	近		ン	ツ	乳	、	つ	、	全	ち	、	ラ	タ	豊	か	を	反
	い		ダ	チ	首	、	た	、	裸	を	、	ウ	と	か	な	浮	応
	マ		ナ	の	を	、	。	上	半	、	女	。	ン	バ	な	か	見
	ン		で	入	責	、	そ	半	身	、	性	わ	バ	い	い	か	な
	シ		包	つ	め	、	し	身	、	ら	る	れ	ン	ツ	い	べ	が

女	よ	う	膝	の	も	事	道	椅	ン	の	四	四	の	る	工	部	わ	そ
王	に	立	「	M	四	務	具	子	が	枷	隅	字	一	ク	屋	れ	の	の
様	し	ち	次	男	部	所	が	が	引	に	の	の	室	ク	も	て	い	マ
の	し	に	ど	性	屋	を	詰	二	付	は	形	字	だ	ス	、	れ	の	ン
付	て	さ	う	と	借	構	め	つ	か	、	を	の	つ	タ	シ	い	る	シ
け	女	せ	し	フ	り	え	込	と	れ	鎖	鎖	の	た	シ	ー	若	い	ン
て	王	せ	ち	エ	て	、	ま	小	、	で	拘	字	。	ー	ー	い	い	マ
い	が	M	や	チ	い	プ	れ	さ	フ	繫	拘	の	一	ク	屋	が	ほ	ン
る	耳	男	お	客	た	レ	た	な	ロ	束	束	字	室	ス	も	と	ん	シ
香	元	の	う	専	。	イ	キ	テ	リ	台	台	の	だ	タ	タ	レ	ん	ヨ
水	で	背	か	門	こ	ル	ヤ	ー	ン	が	が	形	だ	イ	イ	イ	と	ヨ
の	囁	後	か	の	の	ー	リ	ブ	グ	れ	れ	を	つ	レ	レ	レ	だ	ン
い	い	か	ら	界	界	ム	マ	ル	の	た	た	拘	た	ム	ム	ム	だ	シ
い	た	か	ら	M	隈	用	ン	、	床	手	手	拘	が	ム	ム	ム	だ	シ
匂	。	覆	い	ク	で	の	シ	様	に	首	と	拘	が	ム	ム	ム	だ	シ
い	が	い	被	ラ	は	部	ヨ	々	は	首	と	拘	が	ム	ム	ム	だ	シ
、		被	い	ブ	ご	屋	ン	な	黒	足	足	拘	が	ム	ム	ム	だ	シ
体		被	被	だ	く	と	店	普	は	首	の	拘	が	ム	ム	ム	だ	シ
		さ	さ	。	通	し	舗	通	い	力	首	の	大	ム	ム	ム	だ	シ
		る	る		兼	て	か	に	力	束	拘	拘	き	ク	ム	ム	だ	シ
							れ	イ	疊	束	拘	拘	き	ク	ム	ム	だ	シ
							イ	テ	み	用	用	の	大	ク	ム	ム	だ	シ

ホ	女	こ	だ	人	だ	M	込	よ	を	る	は	は	興	温
テ	王	の	つ	の	の	男	め	う	突	が	、	M	奮	が
ル	様	ク	た	若	そ	女	め	に	き	が	普	男	を	、
へ	が	ラ	。	い	の	性	た	、	立	故	通	性	さ	裸
の	乱	ブ		女	、	ガ	と	、	て	に	の	に	ら	の
出	入	ブ		性	が	チ	に	、	て	、	男	性	に	に
張	し	の		が	入	ヤ	に	は	き	、	遙	と	と	背
プレ	て	サ		所	所	ン	に	、	く	か	か	女	煽	中
く	く	ー		属	属	ン	に	痛	り	し	し	性	、	に
イ	る	ビ		す	す	と	に	み	と	か	て	の	女	感
を	い	ス		る	ミ	鍵	の	で	、	じ	肌	性	王	じ
除	う	で		で	ス	の	開	は	、	わ	を	を	様	る
く	の	、		、	ト	く	く	な	突	じ	に	興	よ	体
、	が	レ		レ	レ	音	音	く	き	わ	、	奮	さ	の
同	あ	イ		イ	ス	が	が	最	王	じ	筋	せ	ス	感
じ	つ	中		中	の	し	し	高	様	わ	を	せ	キ	触
マ	た	に		に	レ	て	て	級	が	じ	突	る	も	が
ン	。	他		他	イ	、	、	の	痛	わ	き	破	貴	、
シ		の		の	カ	一		快	み	と	ら	ら	重	M
								感	は	力	な	な	で	男
									、	を	い	い	で	の

物	レ	子	普	つ	ユ	コ	コ	が	際	に	は	ら	一	そ	い	ヨ
だ	イ	で	段	て	ム	ー	ー	初	に	は	れ	人	人	の	た	ン
け	カ	、	着	い	に	ト	ト	め	に	は	て	、	、	時	た	の
を	イ	レ	の	い	な	を	を	め	に	は	て	二	二	間	が	の
事	は	イ	姿	た	る	脱	着	だ	レ	は	て	人	人	事	、	ブ
務	、	カ	を	。	る	い	て	だ	イ	の	い	と	と	前	レ	レ
所	今	イ	姿	。	る	で	く	つ	イ	M	い	恥	普	体	イ	ル
に	、	カ	見	。	の	、	入	た	男	の	し	ず	レ	が	イ	ル
置	店	を	見	。	が	普	入	た	も	男	し	か	レ	空	ム	ム
い	に	呼	て	。	が	通	す	。	乱	も	に	か	イ	い	ム	ム
て	出	、	見	。	が	ボ	る	。	乱	入	参	し	イ	て	性	で
、	勤	、	て	。	が	ン	が	。	入	入	加	い	ル	い	客	の
そ	し	若	、	。	が	デ	、	。	入	有	に	姿	ム	る	が	ブ
の	し	い	、	。	が	ジ	、	。	入	入	參	を	ム	る	レ	レ
た	た	女	、	。	が	姿	、	。	入	有	加	し	ム	に	乱	イ
ま	ば	王	、	。	が	な	、	。	入	有	加	い	ム	に	入	イ
ま	か	は	、	。	が	ど	、	。	入	有	加	て	ム	に	を	に
こ	り	つ	、	。	が	の	、	。	入	有	加	も	ム	に	限	ら
の	で	い	、	。	が	コ	、	。	入	有	加	た	ム	に	希	れ
部	、	素	、	。	が	ス	、	。	入	有	加	り	ム	に	望	ら
屋	荷	の	、	。	が	チ	、	。	迄	有	加	、	ム	に	し	て
		調	、	。	違	チ	、	。	は	有	加	、	ム	に	と	は

な	プ		る	力	は	S	茶	な	だ	ち	つ	プ	の	に
ど	レ	レ	レ	の	顔	の	苦	ら	つ	ら	た	に	ジ	乱
、	イ	イ	イ	姿	だ	珍	茶	睨	た	か	だ	薄	ー	入
実	の	カ	カ	を	け	し	に	ま	。	と	だ	い	パ	し
に	テ	も	そ	見	左	い	さ	れ	も	い	だ	カ	ン	て
様	ク	そ	の	上	中	で	れ	た	切	え	つ	ー	ン	き
々	ニ	の	若	で	に	つ	て	だ	れ	ば	た	キ	と	た
な	ツ	の	い	、	に	め	向	け	長	ナ	。	色	、	た
相	ク	い	い	ク	向	け	覆	ね	の	チ	メ	の	上	ス
談	や	女	女	ラ	に	い	、	を	き	ユ	イ	ウ	タ	タ
に	、	王	王	ブ	て	、	被	漂	、	ラ	ク	エ	イ	イ
の	嫌	王	様	ラ	、	、	さ	わ	こ	ル	ス	、	パ	ル
つ	な	様	の	ブ	、	、	被	せ	の	メ	タ	、	一	の
て	客	綾	の	ア	、	、	さ	せ	め	メ	イ	、	ス	良
あ	の	綾	綾	ア	、	、	、	い	な	ク	段	、	タ	い
げ	対	を	可	ア	、	、	、	た	め	通	シ	、	イ	身
て	応	可	愛	ア	、	、	、	、	な	り	ツ	、	ユ	体
い	の	愛	が	ア	、	、	、	、	ら	、	、	、	、	に
た	仕	が	り	輩	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
。	方	、	、	レ	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	イ	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

一	バ	れ	蹴	前	の	逆	な	お	丈	王	上	て	イ	私	一
礼	ラ	て	られ	け	め	方	か	礼	志	様	が	よ	力	も	綾
を	ン	い	た	つ	り	向	た	を	が	一	り	一	女	え	混
言	ス	る	わ	し	に	か	。	伝	音	ば	い	は	王	え	ぜ
う	は	状	け	て	弱	から	。	え	を	う	、	は	様	、	、
と	崩	態	で	い	倒	い	。	た	頼	か	あ	が	も	も	二
き	れ	目	は	蹴	れ	き	。	時	り	」	り	、	、	ち	人
は	て	隱	な	り	て	な	。	に	に	か	あ	が	も	ろ	で
、	し	し	い	で	し	り	。	、	ド	」	り	が	、	ん	樂
床	ま	を	。	は	ま	り	。	既	ア	か	う	と	だ	ま	し
に	う	さ	。	は	つ	ま	。	に	の	ご	う	ご	M	え	ん
額	。	れ	。	な	た	り	。	レ	方	ざ	ご	ざ	男	の	丈
を	つ	て	い	か	つ	た	。	イ	に	い	ま	い	性	こ	志
・		い	る	し	後	が	。	カ	方	ま	す	ま	か	と	良
け		と	、	し	ろ	、	。	れ	に	、	、	、	め	か	い
・		、		手	が	、	。	イ	に	、	、	、	め	た	る
る				で	、	、	丈	カ	頭	、	、	、	て	わ	と
・				縛	力	、	志	は	を	、	、	、	く	た	こ
			ら	で	全	、	は	こ	下	、	、	、	れ	れ	ろ
					力	、	は	に	げ	、	、	、	て	、	悪
					簡	、	居	に	下	、	、	、	立	、	い
					單	、	、	て	げ	、	、	、	ち	、	ね

瞳	と	丈	で	の	写	い	が	と	べ	だ	少	隠	た	丈	何	れ	志	ら	つ
は	丈	立	立	真	綺	る	背	し	て	つ	し	し	た	丈	度	た	丈	丈	た
、	志	つ	つ	を	麗	綾	が	て	自	た	し	を	し	志	も	。	に	志	一
マ	は	思	て	見	だ	は	高	は	分	が	し	外	丈	倒	れ	そ	丈	志	あ
ゾ	思	い	い	た	と	、	く	、	を	、	の	し	た	志	さ	う	志	立	た
の	つ	る	姿	見	思	丈	特	小	見	レ	間	、	た	の	れ	う	立	ち	。
自	た	。	は	た	つ	志	よ	柄	下	イ	目	、	丈	後	な	言	立	ち	い
分	。	。	そ	姿	た	。	に	の	ろ	力	の	。	志	ろ	が	い	ら	ち	え
に	特	そ	そ	は	は	。	長	丈	し	意	焦	。	の	に	立	が	ヒ	ら	、
と	に	れ	よ	あ	店	り	身	志	い	味	点	。	志	ろ	つ	な	ヒ	も	そ
つ	意	よ	り	あ	の	も	頭	よ	る	が	定	。	の	に	と	が	ー	る	ん
て	地	り	も	つ	待	一	ハ	丈	の	あり	ま	ら	綾	は	な	た	ル	立	こ
は	悪	も	ず	た	合	つ	イ	ヒ	が	げ	ま	な	は	薄	ん	足	ち	上	全
堪	そ	ず	つ	が	、	背	イ	ヒ	が	な	ら	か	と	い	と	が	が	上	然
ら	う	つ	つ	実	い	が	ル	イ	え	笑	な	か	立	い	か	ろ	で	立	な
な	な	と	と	際	で	高	ル	カ	え	み	か	つ	ゴ	ム	立	う	上	く	い
い	光	魅	魅	に	、	か	を	や	た	を	た	た	製	ム	ち	で	蹴	と	で
と	を	力	的	目	レ	つ	履	綾	。	男	丈	丈	の	の	上	蹴	り	す	す
思	放	的	的	の	イ	た	い	の	。	性	志	志	目	が	が	を	る	丈	。
つ	つ	だ	だ	前	カ	。	て	方	。	浮	つ	つ	た	が	つ	い	丈	ほ	ほ

め				は	は	に	チ	そ		た	力	綾	は	露	一	し	ル	自		た
た	レ	「	や	透	今	竿	に	ン	し	め	は	、	は	わ	お	た	口	分	綾	。
。	イ	」	」	明	に	に	に	を	て	め	、	、	、	に	う	」	一	」	は	は
	カ	汚	汚	な	も	高	め	見	、	初	、	、	、	に	た	立	タ	」	丈	丈
	が	い	い	液	破	く	い	ら	れ	め	、	、	、	に	オ	派	タ	」	志	志
	、			が	裂	筋	た	れ	て	め	、	、	、	に	オ	な	」		の	
	そ	」	」	あ	し	も	。	い	て	レ	、	、	、	に	チ	モ	」		横	
	の			ふ	そ	筋	。	イ	、	、	、	、	、	に	チ	モ			を	
	透			れ	う	も	。	力	、	、	、	、	、	に	チ	モ			に	
	明			、	だ	の	。	刺	、	、	、	、	、	に	チ	モ			立	
	な			下	つ	血	管	激	、	、	、	、	、	に	チ	モ			つ	
	液			に	た	管	が	解	、	、	、	、	、	に	チ	モ			て	
	を			糸	。	浮	び	いた	、	、	、	、	、	に	チ	モ			、	
	見			を	糸	び	上	、	、	、	、	、	、	に	チ	モ			オ	
	て			引	そ	丈	志	の	、	、	、	、	、	に	チ	モ			チ	
	、			い	割	志	の	興	、	、	、	、	、	に	チ	モ			ン	
	丈			て	れ	興	奮	奮	、	、	、	、	、	に	チ	モ			チ	
	志			い	め	奮	を	を	、	、	、	、	、	に	チ	モ			ン	
	を			た	か	、	、	、	、	、	、	、	、	に	チ	モ			ダ	
	責			。	ら	龜	頭	更	、	、	、	、	、	に	チ	モ			ナ	
									、	、	、	、	、	に	チ	モ			と	
									、	、	、	、	、	に	チ	モ			と	
									、	、	、	、	、	に	チ	モ			、	

一	て	い	綾	だ	け	い	苛	の	だ	ら	た	一
あ	あ	る	が	つ	な	う	め	を	ね	涎	。	申
あ	、	、	乳	た	か	祕	て	持	「	を	だ	レ
あ	、	、	首	。	つ	密	だ	つ	え	涎	か	イ
あ	、	、	首	す	た	を	け	つ	「	垂	か	力
あ	、	、	首	る	。	ば	し	て	え	れ	ら	の
あ	、	、	首	と	。	ら	か	い	」	大	か	の
あ	、	、	首	面	し	さ	と	い	」	洪	ら	こ
あ	、	、	首	白	か	れ	し	い	」	水	謝	と
一	一	タ	白	い	そ	、	明	い	」	だ	り	あ
一	一	タ	い	ん	れ	丈	け	い	」	し	な	り
一	一	タ	ク	で	が	志	て	い	」	ま	な	ま
の	ス	リ	リ	す	ま	は	い	い	」	だ	が	せ
イ	ツ	ツ	ツ	よ	た	恥	な	い	」	し	ら	ん
ツ	チ	チ	チ	一	堪	ず	か	心	」	て	も	に
チ	を	に	に		ら	か	つ	が	」	も	し	素
を	入	つ	つ		な	し	た	け	」	う	た	敵
れ	れ	な	な		く	く	童	だ	」	ら	。	だ
た。	た。	が	が		興	て	貞	」	」	う	そ	に
		つ	つ		奮	情	と			う	ま	に

「もつ、申し訳ありません」
しょ
ンは見られると、苛められるる為にあるん
で
たいでつまんないでしょ。
ン触られて、感じて声だし
た
。
「あら、丈志君は、ダメでし
た。
そして、亀頭から袋までを乱暴に撫で回し
握りしめた。
ギチに固くなつているオチ
綾が手袋をはめたままの手で、丈志のギチ
な
一
あ
あ
あ
あ
く
せ
に
、
ほ
ら
」
おつしや
い
い
。
本當は見られたくて仕方
いたのだ。
「嘘おつしやい。
は
め
た
ま
ま
の
手
で
、
丈
志
の
ギ
チ
い
か
細
い
声
で
、
丈
志
が
訴
え
た。
しか
し
か
し
、
実
際
に
は
、
二
人
の
女
王
様
に
、
自
分
の
姿
を
想
像
し
、
も
つ
と
激
し
い
こ
と
を
、
も
つ
と
恥
で
いた
だ
い
て
い
る
自
分
の
姿
を
想
像
し
、
も
つ
と
恥
で
いた
だ
い
て
い
る
自
分
の
女
王
様
に
、
丈
志
が
訴
え
た。
しか
し
か
し
、
実
際
に
い
」

ゴ	ム	バ	だ	丈	志	そ	「	レ	ル	の	レ	「	で	感	「	つ	当	レ	し
何	手	イ	な	感	は	快	じ	イ	抵	の	イ	本	す	じ	た	て	レ	か	一
本	袋	ブ	あ	じ	感	快	感	快	抗	抵	イ	当	よ	て	か	る	イ	つ	し
入	を	を	一	ち	を	感	感	感	抗	抗	カ	だ	」	く	「	あ	カ	つ	よ
る	両	抜	く	や	感	感	感	感	抗	抗	ガ	、	」	る	ら	、	イ	か	う
?	手	く	と	い	じ	じ	じ	バ	抗	抗	バ	、	ガ	、	、	、	ア	つ	が
」	に	と	、	け	て	い	い	バ	抗	抗	バ	、	ガ	、	、	、	ナ	た	」
は	は	、	レ	れ	け	い	た	イ	抗	抗	バ	、	ガ	、	、	、	ア	な	」
め	め	イ	力	れ	れ	い	た	ブ	抗	抗	バ	、	ガ	、	、	、	ナ	い	」
て	て	イ	は	れ	れ	い	た	の	抗	抗	バ	、	ガ	、	、	、	ア	な	」
、	ワ	セ	自	れ	れ	い	た	先	抗	抗	バ	、	ガ	、	、	、	ア	な	」
	セ	リ	分	だ	れ	れ	た	で	抗	抗	バ	、	ガ	、	、	、	ナ	い	」
ン	リ	ン	も	と	れ	れ	た	前	抗	抗	バ	、	ガ	、	、	、	ア	な	」
を	リ	を	医	イ	れ	れ	た	立	抗	抗	バ	、	ガ	、	、	、	ナ	い	」
塗	リ	塗	療	マ	れ	れ	た	腺	抗	抗	バ	、	ガ	、	、	、	ア	ナ	」
つ	リ	つ	用	イ	れ	れ	た	刺	抗	抗	バ	、	ガ	、	、	、	ナ	い	」
た。	リ	た。	の	チ	れ	れ	た	激	抗	抗	バ	、	ガ	、	、	、	ア	ナ	」
								さ	抗	抗	バ	、	ガ	、	、	、	ナ	い	」
								れ	抗	抗	バ	、	ガ	、	、	、	ア	ナ	」

前		た	み	る	ぎ	い	始	が	本	少	レ	「
で	そ	。	、	か	り	音	め	ら	と	し	イ	了
両	れ		五	も	烈	音	め	、	指	出	イ	い
手	か		本	な	な	を	た	、	を	し	カ	つ
首	ら		目	一	快	立	。	ア	入	入	は	も
だ	、		の	ち	感	て		ナ	れ	れ	、	は
け	丈		ア	よ	と	始		ル	し	し	ま	四
を	志		ナ	つ	、	め		か	て	た	は	本
縛	は		ル	と	頑	。		ヌ	い	つ	人	ま
ら	、		は	頑	張			チ	三	た	差	で
れ	一		、	張	、			チ	本	。	も	、
、	度		レ	れ	、			ム	は	、	う	し
P	縄		イ	ば	丈			カ	、	直	指	指
V	を		力	、	志			ル	ま	ぐ	を	を
C	解		の	、	狂			に	ま	に	ア	二
の	か		指	、	わ			出	ま	は	ナ	本
パ	れ		を	四	わ			し	搔	は	、	、
ン	、		四	ス	せ			入	き	入	ル	そ
ツ	体		本	ト	る			回	回	ら	に	し
に	の		飲	も	た			入	し	ん	て	て
			み	い	。			れ	し	か		入
			込	け				し				れ、

ア	せ	せ	て	も	せ	す	だ	つ	綾	一	そ	入	い	互	二	オ
ナ	ら	丈	お	と	で	」	ろ	け	が	い	し	れ	た	に	ス	チ
ル	れ	志	礼	に	寝	は	う	け	、	い	て	れ	た	ア	バ	ン
を	な	は	を	居	か	」	う	、	こ	い	い	れ	が	ナ	ン	チ
犯	く	足	言	る	か	、	い	、	の	い	て	れ	た	ア	ナ	ン
し	さ	に	つ	は	さ	、	あ	、	オ	か	、	れ	た	バ	ン	の
、	れ	も	た	ず	れ	、	り	、	ナ	か	、	て	が	ア	バ	ド
犯	。	繩	。	で	れ	、	が	、	ホ	か	、	い	も	ナ	バ	で
さ		を		あ	れ	、	と	、	レ	ら	、	れ	り	ル	ク	形
れ		か		ろ	う	、	う	、	イ	あ	、	れ	も	を	か	を
た		け		う	丈	、	ご	、	、	、	、	、	大	犯	ツ	し
三		け		、	志	、	ざ	、	、	、	、	、	き	さ	ク	た
人		ら		、	手	、	い	、	、	、	、	、	な	れ	か	。
の		れ		、	力	、	ま	、	、	、	、	、	ペ	二	バ	。
体		、		と	頭	を	す	、	、	、	、	、	、	ス	バ	イ
に		、		綾	を	れ	、	、	、	、	、	、	、	バ	ン	ブ
は		、		に	あ	た	、	、	、	、	、	、	、	ド	レ	が
、		足		げ	ま	、	嬉	、	、	、	、	、	、	で	イ	付
汗		も		て	ま	、	し	、	、	、	、	、	、	犯	カ	い
		動		、	、	、	い	、	、	、	、	、	、	さ	と	た
		か		向	足	、	で	、	、	、	、	、	、	れ	に	黒

い		す		に	以	か		ナ		ま		綾		だ		れ		ら		と		が
が	「	あ	「	達	上	た	か	ホ	」	ず	」	が	」	か	か	ず	れ	れ	」	綾	「	未
つ	今	あ	あ	し	に	だ	亀	ー	別	自	別	が	」	か	ら	に	に	な	」	、	た	だ
て	日	あ	あ	て	た	で	頭	ル	分	分	に	、	が	ら	ね	、	か	な	」	、	だ	だ
あ	は	」		し	か	さ	の	で	か	か	頑	頑	、	ら	ね	。	か	か	」	、	幾	幾
げ	早			ま	ぶ	え	先	し	ら	や	張	張	、	ら	出	、	つ	つ	」	、	筋	筋
て	い			つ	つ	、	ま	ご	赤	や	張	り	、	な	し	た	た	た	」	、	も	も
い	な			た	た	、	で	き	い	か	り	ま	、	な	し	た	ら	ら	」	、	流	流
る	。			。	い	イ	ま	始	ブ	に	た	す	、	た	後	、	、	、	」	、	れ	れ
の	じ			。	力	力	ん	め	ラ	言	た	「	、	た	の	、	、	、	」	、	か	か
は	や			。	丈	丈	べ	た	ス	い	つ	」	、	た	鞭	、	、	、	」	、	い	い
ど	あ			。	志	志	ん	。	チ	放	て	、	、	た	鞭	、	、	、	」	、	き	き
つ	、			。	は	入	な	。	ツ	ち	い	、	、	た	鞭	、	、	、	」	、	た	。
ち	今			。	、	に	く	。	ク	放	、	、	、	た	鞭	、	、	、	」	、	く	。
だ	、			。	直	よ	く	。	イ	ち	、	、	、	た	鞭	、	、	、	」	、	な	。
一	丈			。	ぐ	り	乱	。	イ	イ	、	、	、	た	鞭	、	、	、	」	、	つ	。
	志			。	、	、	暴	。	カ	力	、	、	、	た	鞭	、	、	、	」	、	る	。
	を			。	に	、	に	。	ニ	ニ	、	、	、	た	鞭	、	、	、	」	、	か	。
	か			。	限	つ	つ	。	觀	外	、	、	、	た	鞭	、	、	、	」	、	た	。
	わ			。	界	つ	も	。	の	外	、	、	、	た	鞭	、	、	、	」	、	時	。
				。	点	も	た。	オ	の	外	、	、	、	た	鞭	、	、	、	」	、	私	。

押	れ	本	「	と	し	て	し	丈	ン	綾	「	綾
さ	て	当	そ	外	ま	く	笑	志	を	り	レ	は
え	、	に	、	し	ま	く	つ	の	し	だ	イ	笑
つ	し	そ	そ	て	た	つ	て	間	ご	つ	だ	い
け	ご	ん	ん	な	。)	か	し	拔	き	た	す	す
ら	か	な	な	な	い	ら	ま	け	き	の	よ	笑
れ	れ	な	な	な	か	数	つ	な	た	だ	よ	い
て	て	こ	こ	こ	か	回	た	と	と	の	う	な
、	、	と	と	と	、	丈	。	力	ス	た	な	が
い	い	は	な	な	、	志	。	と	ピ	あ	い	ら
か	き	な	い	い	、	は	、	力	ー	あ	、	質
せ	そ	か	で	で	、	こ	、	と	ド	あ	、	問
て	う	つ	言	つ	て	と	、	叫	ー	、	今	し
も	に	た	つ	た	る	ご	、	び	ー	外	に	た
ら	な	。	た	。	氣	と	、	声	ド	れ	も	。
え	る	体	、	た	あ	く	、	に	を	た	出	。
な	と	を	、	。	る	答	、	、	、	罰	し	。
い	根	拘	、	。	の	く	、	二	、	で	し	。
プ	本	束	、	。	か	答	、	人	、	こ	て	。
レ	を	さ	、	。	。	え	、	は	、	う	し	。
			、	。	。	を	、	声	、	な	い	。
			、	。	。	外	、	を	、	な	い	。
			、	。	。	外	、	揃	、	な	い	。
			、	。	。	外	、	え	、	な	い	。

た		あ		こ	し	め		い			は	だ	は	オ	ず		ま		相	て	イ
。	我	つ	一	ろ	か	し	て	の	の	だ	ず	だ	チ	、	し	う	も	手	も	も	
通	慢	一	・	か	、	か	止	か	か	だ	が	つ	チ	、	か	う	、	の	の	確	
常	で	・	・	更	、	し	め	あ	あ	め	が	た	ン	、	か	か	も	女	男	か	
の	き	・	・	に	、	、	・	あ	あ	じ	な	・	ン	、	か	し	も	性	の	に	
射	ず	・	・	あ	、	オ	・	だ	、	や	か	・	を	、	、	い	れ	に	普	辛	
精	に	、	、	、	チ	チ	・	だ	、	な	・	た	ん	、	、	き	な	ラ	ラ	い	
で	、	、	、	そ	、	、	・	め	、	い	・	・	チ	、	、	た	い	イ	イ	。	
は	丈	あ	あ	の	チ	チ	一	だ	だ	だ	・	・	ん	、	、	、	い	ド	ド	ま	
感	志	あ	あ	ス	ン	ン	・	め	め	ろ	も	・	を	、	、	、	、	な	な	だ	
じ	は	あ	あ	ピ	を	し	・	だ	だ	。	う	・	・	、	、	、	、	ど	ど	マ	
る	遂	、	、	、	ド	ご	・	め	め	。	・	・	・	、	、	、	、	直	直	ゾ	
こ	に	い	い	く	を	く	・	・	・	・	・	・	・	、	、	、	、	ぐ	ぐ	に	
と	射	、	、	、	あ	手	・	・	・	・	・	・	・	、	、	、	、	目	目	覚	
の	精	、	、	、	げ	は	・	・	・	・	・	・	・	、	、	、	、	覚	覚	め	
出	し	、	、	、	く	止	・	お	お	鞭	・	・	・	、	、	、	、	投	投	め	
来	て	、	、	、	て	ま	・	願	願	三十	・	・	・	、	、	、	、	げ	げ	う	
な	し	、	、	、	い	る	・	い	い	叩	・	・	・	、	、	、	、	願	願	う	
い	ま	、	、	、	つ	と	・	い	い	き	・	・	・	、	、	、	、	し	し	い	
快	まつ	、	、	、	た。	と	・	止	止	、	・	・	・	、	、	、	、	な	な	く	

感と共に。その瞬間、頭の中は真っ白だつた。
自分の中は、
オチンチンの先から精液が飛び出していくかのようだつた。
射精感だつた。
自分がエビ剃り、足がピクピクと痙攣していく。
体がエビ剃り、足がピクピクと痙攣していく。
最後の一滴まで絞り取られ、丈志は余韻まがった。
た。
終了した。
で、たつぶり感じさせてもらつて、丈志はプレイがった。
発で許してもらえた。
続く。